

蚊の発生を防いで 快適な夏を過ごそう!!

キーワードは『水たまりをなくす!』



ヒトスジシマカの吸血

蚊が媒介する感染症を予防しましょう!!

デング熱やジカ熱って?

ウイルスを持った蚊(日本ではヒトスジシマカ)に刺されることで感染し、発熱や関節痛、発疹等の症状が出る場合があります。デング熱では出血熱となり重症化する可能性があり、ジカ熱は妊婦の感染で胎児に先天性障害を起こすことがあります。症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。



いずれも海外で流行している感染症ですが、日本にも感染症を媒介するヒトスジシマカは生息しており、ウイルスが持ち込まれる可能性があります。日頃から家の周りでの防蚊対策に取り組みましょう!

発生源対策(幼虫対策)

蚊を増やさない!

蚊は、下の写真のような放置された空き缶、バケツ、植木鉢の受け皿、古タイヤ等の小さな溜まり水に卵を産み、それがふ化してボウフラ(幼虫)が発生します。不要なものは“廃棄”し、溜まった水は『週に1度*』は“ひっくり返し”、日頃から水が溜まる場所を作らないようにしましょう。

※水たまりに産卵された蚊の卵が成虫になるまでに、約2週間かかります。



▲ 放置された空き缶



▲ 雨ざらしの用具



▲ 水の溜まった鉢



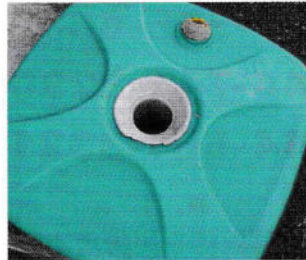
▲ 古タイヤ



▲ 水の溜まった埋設型散水栓



▲ 放置されたペットボトル



▲ 旗立て 支柱立て



▲ 水の溜まったビニール

成虫対策

蚊にさされない!

殺虫剤を使った成虫の駆除は、一時的には効果がありますが、長続きしません。殺虫剤は補助的に使用し、蚊に刺されないための環境を整えましょう!

蚊の侵入を防ぐ

- ・窓に網戸を設置する
- ・扉を開けっ放しにしない



蚊の潜み場所をなくす

- ・やぶや草むらを刈り取り、蚊の潜み場所を作らない

蚊の吸血を防ぐ

- ・外での作業時は、明るい色の長袖・長ズボンを着用する
- ・皮膚が露出する部分には、虫よけ剤(ディートやイカリジンを含むもの)を使用する
- ・蚊取り線香を使用する



▲ 窓の開口部には網戸を!



▲ やぶは刈り取りましょう

川崎市の取組

川崎市で行っている蚊媒介感染症対策について御紹介します。





成虫調査

川崎市では、2002年から、蚊の発生時期に合わせ、市内公園等において蚊(成虫)を捕集し、それらのウイルス保有状況を確認しています。調査結果等は市ホームページで公開しています。(リーフレット下部参照)

身近にいる蚊の種類

日本で身近に見られる2種類の蚊について御紹介します。

種類	見た目	吸血時間・場所	幼虫発生場所	媒介する感染症
ヒトスジシマカ	 体色:黒色 背中に1本の白縦筋と、足の関節に白斑がある。	主に日中、屋外で吸血する。屋内に侵入することもある。	雨水マス、古タイヤ、バケツ、空き缶などの水溜まり等	デング熱 チクングニア熱 ウエストナイル熱 ジカウイルス感染症等
アカイエカ	 体色:淡赤褐色	主に夜間、屋内で吸血する。	雨水マス、側溝、下水溝等	日本脳炎 ウエストナイル熱等

相談窓口

※薬剤散布や清掃等は実施していません

蚊についての御相談・お問い合わせは、お住まいの区の地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課まで

川崎区役所 衛生課	044-201-3223	宮前区役所 衛生課	044-856-3265
幸区役所 衛生課	044-556-6682	多摩区役所 衛生課	044-935-3310
中原区役所 衛生課	044-744-3280	麻生区役所 衛生課	044-965-5163
高津区役所 衛生課	044-861-3321	健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当	044-200-2448

市内公園等の蚊のウイルス保有状況等を川崎市ホームページで公開しています。
(<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000060863.html>)

